本校における埼玉県高等学校職業教育技術顕彰の取り組みⅠ
――生徒の反応を中心として――

金城幸廣（工業科）　手塚雅之（商業科）

1．はじめに

高等学校において資格試験を行うことは色々な教育的意義がある。平成8年度調査書においても資格試験記入事項の欄が拡大されており、社会の評価として資格試験重視の傾向を示すものである。本研究は、埼玉県高等学校職業教育技術顕彰を通じて本校における資格試験の実態を紹介し、資格試験取り組みの活性化を促すものである。

資格試験の意義として

(1)一定の達成度を見る。

(2)社会における有効度。

(3)目的を持ち目標達成することの教育適意義。

等が考えられる。本研究は生徒の資格試験に対する取り組みと資格取得後の反応を中心として本校の資格試験に対する取り組みを中心として報告するものである。

埼玉県高等学校職業教育技術顕彰

1．1制度の目的

「高度の職業教育技術取得者を顕彰することによって、埼玉県内の高等学校及び特殊教育諸学校の高等部に在籍する生徒が、専門教育の学習に目的意識をもち、職業資格の取得や技術検定によって技術の習得に努め、専門教科に対する学習意欲を高めるとともに、将来、社会で活躍できる産業人を育成することを目的とする。」

以下にこの制度の内容についての概略を実施要項より示す。

1．2埼玉県高等学校職業教育技術顕彰制度実施要項

（目的）

第2条　この制度の対象となる生徒は、埼玉県内の高等学校及び特殊教育諸学校の高等部に在籍する生徒とする。

（顕彰の手続き）

第7条　顕彰の適格者は、申請書に各種試験の合格書等の写を添えて、所属学校長に提出する。

第8条　所属学校長は、顕彰条件に該当するものであることを確認し、顕彰推薦書を知事に提出する。

（顕彰の授与）

第9条　知事は、顕彰の条件を満たした者に技術顕彰証書を授与する。

（顕彰事務の委託）

第10条　知事は、埼玉県高等学校職業教育技術顕彰の事務を埼玉県産業教育振興会長に委託する。

第12条　顕彰の時期は、毎年8月と2月に行うものとする。

1．2提出書類

(1)申請書

下記に示す。

埼玉県高等学校職業教育技術顕彰申請書

平成　年　月　日

埼玉県知事様

学校名　　学校
生徒氏名　　印
学科・コース名
学年　　年　　性別
生年月日　昭和　年　月　日

このことについて、下記の職業資格等を得ましたので埼玉県高等学校職業教育技術顕彰制度実施要綱第7条の規定に基づき、合格証書等の写しを添えて申請します。

取得した職業資格等の内容

No.	種目	資格・検定試験等の名称	主催団体等	取得年月日	ランク	得点
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
合計得点						

(2)様式2

第　　号
平成　　年　　月　　日

埼　玉　県　知　事　　様

学 校 名　　学校

学校長名　　印

記入者名　　印

埼玉県高等学校職業教育技術顕彰推薦について（申請）

このことについて、埼玉県高等学校職業教育技術顕彰制度実施要綱第8条の規定により別添のとおり推薦します。
なお、集計の結果は下記のとおりです。

記

	1　年	2　年	3　年	4　年	合　計
男					
女					
計					
A　ランク					
B　ランク					
C　ランク					
D　ランク					

(3)様式3

（　葉中　枚）

埼玉県高等学校職業教育技術顕彰推薦書

学 校 名　　学校

No	学年	学科	氏名	性別	生年月日	資格・試験等ﾗﾝｸ A6	B3	C2	D1	得点合計	備考
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						
					・　・						

※1　学科は大学科名を記入する。
　2　ランクの欄は取得個数を記入する。
　3　得点合計欄には、得点の合計を記入する。

2．本校における技術顕彰所得者と実態

(1)本校で実施している資格試験検定
（図3）

(2)技術顕彰所得者数

工業系

平成7年度　後期　3年　8名
　　2年　1名
平成8年度　前期　3年　7名
　　後期　3年　7名
　　2年　1名
平成9年度　前期　3年　5名

商業系

平成7年度　後期　2年　4名
平成8年度　前期　3年　4名
　　後期　2年　3名
　　3年　10名
平成9年度　前期　2年　5名
　　3年　8名

3．生徒の反応

生徒1（平成9年前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
計算技術検定2級	平成9年6月21日	B
機械製図検定	平成9年7月5日	B
危険物取扱乙4種	平成9年2月17日	B

感想

僕は上記の資格によって技術顕彰を頂くことができました。僕は技術顕彰については入学した当時、知り合いの先輩から「II類（機械系）ならば大抵はもらえるよ」と聞いたことがあり、頑張ろうと思ったことがありました。またなるべく多くの資格を高校在学中に取りたいという願いや、友人たちもそうした面で積極的な人たちが幸いにも多かったので、大変助けになりました。

資格を取る上で一番気合いを入れたのは「危険物取扱い乙4種」だと思います。なぜかと言うと一応世の中で役に立ちそうな（ガソリンスタンド）だからです。大変だったのは勉強を始めるのが遅くなってしまったため、学校では休み時間一杯また自宅では夜遅くまで勉強する必要がありました。ここで、教訓になるのは予習勉強は、なるべく早くから始めるようにしようということです。

計算技術検定も4級、3級は授業で2級は補習などを受けどうにか合格できました。機械製図検定でも放課後残って練習に励みました。これらの中でお世話になった

先生方に感謝したいと思います。ちなみに今でも色々な検定試験に挑戦しています。高校在学中のみでなくこれからもできることがあったら挑戦していきたいと思います。

生徒２（平成９年前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
計算技術検定２級	平成９年６月21日	B
機械製図検定	平成９年７月５日	B
危険物取扱乙４種	平成９年９月13日	B

感想

僕は授業で基礎製図検定や計算技術検定を受けていたので、ある程度のポイントはありました。しかし、２年になって、夏休み中に危険物取扱者の資格を取得してから９点をためようと意識しはじめました。その後機械製図検定や２級計算技術に合格し、表彰されることができました。

賞状をもらった時は、自分の努力が形になって現れてきたのでやはりうれしかったです。もらはなくても、自力でとった資格や検定というのは、宝だと思うし、自分のほこりにもなるので、大いに取るべきだと思います。だから賞状ほしさに、あまり役にたたないような資格や、簡単すぎる検定に手を出しすぎないようにし、あくまでも自分の将来の為になる資格を目指すべきだと思います。一生懸命やっていれば賞状をもらえます。自分のために検定を受けていれば、賞状をもらったあともモチベーションを失わずひきつづき検定にチャレンジしつづけられると思います。

生徒３（平成８年後期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
計算技術検定２級	平成９年６月21日	B
機械製図検定	平成９年７月５日	B
危険物取扱乙４種	平成９年９月13日	B

感想

僕は高校に入学した時から技術顕彰を早くとりたいと思っていました。それで出来る限り検定などを積極的に受けるようにしました。１年次の時にワープロ検定３級、基礎製図検定、計算技術検定、情報技術検定、危険物などを取ることができました。出来るなら２年生のうちに顕彰賞を取りたいと思っていたので無中で色々な検定や試験を受けていたと思います。そのような努力の成果もあり、２年の最後に技術顕彰をとることができました。１年の頃から技術顕彰を目指していたので、もらった時は本当にうれしかったです。

生徒４（平成９年前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
秘書技能検定２級	平成９年６月22日	A
ワープロ検定２級	平成８年11月24日	B

感想

私の場合、ダメもとで申し込んだ検定が多かった。一応、問題集など見ているのだが、前日ぐらいになると焦りと不安で、どこからか不思議とやる気が現れるのだ。今まで勉強した内容をフル回転で解答用紙に向かわせていた。３級まではこの調子に合格していた。しかし、２級・１級になると厳しさと自分の甘さが身に染みてよく分かった。

この頃は、「来年こそは必ず」といった強い決意もある。たとえ検定に落ちても身についた知識は無駄ではないし、自己研鑽を重ねることは大切だと思う。

資格だけが就職に役立つとは思わないが、今のうちに多くの資格を取っておこうと思う。

生徒５（平成９年後期取得予定）

取得資格	取得年月日	ランク
英語検定１級	平成９年９月21日	A
簿記検定２級	平成９年１月26日	B

感想

高校在学中に一つでも多くの資格を取得したいという希望があり、新しい教育方針をいち早く取り入れた総合学科に入学しましたが、あまりに多くの資格があることに気づき、一時戸惑いを感じました。そこで、どんな資格が大切かと言うことを考えた上で、将来の夢である国際社会で活躍するために必要な資格をにシャレンジしてみることにしました。入学当初より一年間英検３級を目指し勉強を始めました。２年生に進学したとき、初めて検定を受けることにしましたが、自分の学力を試すために３級と２級を同時に受けました。結果として幸せなことに、どちらも同時に合格し少し自信が湧いてきました。そこで次の目標として、卒業までに英検１級が取得できればと夢が膨らみました。でも現実にそんな甘いものではないので３年生の夏休みに努力することにしました。夏休みには英字新聞などを読み、ヒアリング向上の為に「Ｆ．Ｅ．Ｎ」をよく聞きました。その結果卒業前に１級に合格することが出来ました。それと並行して、簿記検定試験やワープロ実務検定試験も在学中に取得することが出来ました。

５．終わりに

資格試験の取得は単に資格を得るのみでなく以下の様な教育的意義がある。

(1)教科の中の一定の習得度を判断する。

(2)資格試験に挑戦することにより学習意欲が向上する。

(3)目標を持ち資格所得することにより自信を付けることができる。

(4)技術顕彰を授賞することによって高等学校卒業後様々な資格に挑戦しようとする意欲を養う。

従って本校において多くの資格試験を取り組むことは大切である。しかし次の様な課題も残されている。

今後の課題

(1)資格試験のランクについては毎年議論、検討がなされている。

(2)今後予想される資格試験。

(3)本顕彰の根幹にかかわることであるが顕彰基準が9点以上であるという教育適、社会的妥当性。

(4)技術顕彰は在学中、一度しか受賞できない。その為生徒の中には更に多くの資格試験を取得し上ランクの顕彰を望む希望がある。

(5)資格ランクについては埼玉県教育委員会で継続的に検討が行われている。社会の実情、実態を視野に妥当性のあるランクを確立することを要望する。

今後上記の課題を段階的に改善し技術顕彰の目的に合った指導体制の確立が重要となる。

主な顕彰制度の分類

	種目	資格・検定試験等の名称	主催団体	ランク			
				A（6）	B（3）	C（2）	D（1）
工業系							
1	製図	機械製図検定	全国工業高等学校長協会		合格		
2		基礎製図検定	〃			合格	
3		全国製図コンクール	〃	金賞、銀賞			
4	計算技術	計算技術検定	〃	1級	2級	3級	4級
5		計算技術競技会	埼工研・全工高長協会	全国入賞	県1・2位		
6	情報技術	情報技術検定	全国工業高等学校長協会	1級	2級	3級	
7		埼玉県工業高校生ﾌﾟﾛｺﾝ	埼玉県教育委員会			入賞	
8		全国高校生ﾌﾟﾛｺﾝ	全国情報技術研究会	優秀賞	優良賞	佳作	
9	ガス溶接	ガス溶接技能講習	労働安全衛生管理協会				終了
10	アーク溶接	アーク溶接技能講習	〃				終了
11	ボイラー	ボイラー技師	日本ボイラー協会		2級		
12	危険物	危険物取扱者乙種	消防試験研究センター		合格		
商業系							
13	簿記	簿記検定試験	日本商工会議所	1・2級	3級	4級	
14		簿記能力検定試験	全国経理学校協会	総合1級	1級科目 2級	3級	4級
15		簿記実務検定試験	全国商業高等学校協会	総合1級	1級科目 2級	3級	
16		簿記検定試験	埼玉県商業教育研究会	総合1級	1級科目 2級	3級	4級
17	情報処理	情報処理能力検定試験	全国経理学校協会	2級	3級		
18		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ利用技術検定	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
19	ワープロ	ワープロ実務検定	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
20		英文ワープロ実務検定	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
21		日本語文書処理技能検定	日本商工会議所	2級	3級	4級	
22		ワープロ実務検定	埼玉県商業教育研究会	1級	2級	3級	4級
23		英文ワープロ実務検定	埼玉県商業教育研究会	1級	2級	3級	4級
24	英語	英語検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
25		実用英語技能検定	日本英語検定協会	準2級	3級		
26	珠算	珠算実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
27		珠算計算能力検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	
28	販売士	小売商（販売士）検定	日本商工会議所	2級	3級		
29	秘書	秘書技能検定試験	実務技能検定協会	2級	3級		
30	電卓	電卓計算能力検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	
31		電卓実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
32	漢字	日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準1級	2級	3級	4級
家政系							
33	編物	毛糸編物技能検定	全日本編物検定協会	1級	2級	3級	

注意：ﾎﾞｲﾗｰ、危険物については事務手続き、テキストの提供のみ行っている。